

# 競技注意事項

## 1.規則について

- ・本大会は2015年度日本陸上競技連盟競技規則によって実施する。

## 2.メンバーエントリーについて

- ・2015年6月19日(金) 15:00までに本連盟まで**必着**で提出すること。
- ・提出の際は、本連盟事務局まで郵送・FAX・持参のいずれかで提出すること。
- ・写真判定装置を使用するため、腰ナンバーカードを両腰に数字が見えるようにつけること。腰ナンバーカードはフィニッシュ後、ただちに係員に返却すること。※第143条7・8・9項を参照のこと

## 3.ナンバーカードについて

- ・ナンバーカードは平成27年度本連盟指定の登録ナンバーカードを使用する。
- ・ナンバーカードは胸背部に確実につけること。

## 4.学校受付について

- ・学校受付は9:00～9:30とする。このとき、出場選手全員の健康に関する申立書を提出すること。
- ・プログラムを各チーム2部配布する。

## 5.練習について

- ・競技開始前のウォームアップやクールダウンは、7,8レーンを使用し、トラック内の芝生には立ち入らないこと。また、本部前の通行は禁止とする。

## 6.招集について

- ・招集の方法について
- ①招集所は、第4コーナー付近に設置する。
- ②招集完了時刻までに、招集所にてコールを受ける事。その際、スパイク及びバック等の商標、ナンバーカードをチェックする。
- ③競技開始10分前に現地で最終コールを行う。
- ・招集は、タイムテーブルに記載された時間までに招集所にて行うので、完了時刻までに招集を完了すること。

招集開始時刻 10:30 招集完了時刻 10:45 競技開始時刻 11:00

## 7.競技について

- ・ユニフォームは各大学で統一して競技に臨むこと。
- ・メンバーエントリーされた参加者のうち完走者が6名に満たない場合は、予選会失格とする。
- ・選手がフィニッシュする際は4～8レーンでフィニッシュすること。

## 8.棄権について

- ・当日の棄権は、学校受付に棄権申請書を提出すること。
- ・棄権者が出た場合のメンバー変更については、メンバーが6名以下になった場合のみチームエントリーされた選手から変更を認める。

## 9.応援について

- ・応援時はレーン内への立ち入りを禁止する。なお、主催者側の指示に従うこと。
- ・甚だしい応援をしている参加校については、参加資格をはく奪する等の措置を行う場合がある。

## 10.撮影について

- ・競技場内での写真・ビデオの撮影については、選手のプライバシーおよび肖像権を保護するため大会関係者及び主催者に許可された者以外の撮影は禁止する。その際、撮影許可証を本部にて配布しているので、撮影希望者は本部にて許可証を受け取ること。ただし、スタート時におけるスタート地点での撮影は禁止する。盗撮防止のため、大会役員が声をかけることがあるが、その場合は速やかに許可証を提示すること。また、許可なく撮影している者を発見次第、厳重に処分する。

## 11.代表校の選出方法について

- ・下記の要領で順位を決定し、女子は上位1校の大学を代表校とする。
- ①予選会参加校のメンバーエントリーに記載された参加者の中から、上位6名の合計タイムで決定する。
- ②6名の合計タイムが同じ場合は、6名の順位の合計が少ない大学を上位とする。
- ③6名の順位の合計も同じ場合は、最上位の選手の順位が上の大学を上位とする。  
ただし、選出された代表校が不出場の意思を表示した場合、次の順位の大学を繰り上げることとする。

## 12.成績発表について

- ・記録、成績については、閉会式の際、発表する。
- ・成績発表までは成績の問い合わせには応じかねるので本部には問い合わせに来ないこと。

## 13.用器具について

- ・用器具は全て競技場備え付けのものを使用する。ただし、使用の際の破損などによる事故発生の場合使用した当該競技者が責務を負うものとする。この場合、主催者はその責務を負わない。

## 14.抗議について

- ・抗議は日本陸上競技連盟競技規則第146条に基づき、アナウンスで正式に結果が発表されてから30分以内に競技者自身、または代理人が口頭で審判長に申し出なければならない。
- ・審判長の裁定不服の場合には、その競技者に代わる責任者より上訴申立書と預託金(¥10000)を添えて、上訴する。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合、没収される。

#### 15.陸上競技場の閉門時刻について

- ・閉門は13:00とする。  
※閉門時刻は厳守のこと。

#### 16.給水について

- ・給水は気象条件により行う場合がある。(行う場合はバックストレート4レーンより外側)

#### 17.その他

- ・貴重品の管理は各大学及び各個人で責任をもって行うこと。万が一盗難・紛失が発生しても本連盟は一切責任を負わない。届け出があったものについては、学連本部にて一時保管する。
- ・本部前の通行は禁止とする。
- ・競技中に起こった怪我に対しては主催者側が応急処置を行うが、それ以降の治療に対しては一切責任を負わない。健康保険証(コピー可)を持参すること。  
※ただし、2015年(社)日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
- ・使用した場所は各大学で責任を持って清掃を行うこと。学校受付の際にゴミ袋を配布するので、ゴミは各大学で持ち帰ること。
- ・競技場は全天候舗装であるため、スパイクピンは全天候型トラック用平行ピンで長さは9mm以下とする。
- ・選手がフィニッシュする際は4~8レーンでフィニッシュすること。
- ・記録証明書を希望する競技者は、300円を添えて大会本部まで申し込むこと。
- ・競技会において競技者は助力とみなされるビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、MD、トランシーバーや携帯電話、もしくはそれに類似するものを、競技場内で使用、所持することは認められない。勧告を受け入れない場合は失格となる。  
なお、競技規則144条1に則り、選手に周回のラップタイムを競技区域内から教えることを禁ずる。ただし、スタンドは競技区域外と判断するため可能とする。
- ・その他、不明な点は、大会本部に問い合わせること。